

楽しく学べる研修会にむけて

厚別区のシニアリーダー養成研修生は、現在5人。それぞれ部活動や勉強などで忙しく、全員がそろうことはほとんどありません。研修会では研修修了生たちと協力して、みんなを引っ張ります。この日の進行役は、**梁田将志**くん(高校2年生 あおば くにみつ まさしい 青葉子ども会)、**國光麻衣**さん(高校1年生 こうよう こうよう 紅葉子ども会)でした。



「みんな仲が良く楽しい。この立場になってみると、やらなくちゃという気持ちが強くなった」と國光さん



「中心になっていくことは大変だけど、学校や年齢の違う、みんなと過ごす時間が楽しい」と梁田くん



雪合戦大会やその会場作りなどを行った冬季研修。その事前打ち合わせの様子をのぞいて見ました。

この日は、シニアリーダー養成研修生三人とジュニアリーダー研修生十三人が集まり、夕食後のレクリエーションで行う、ゲームやダンスを決めました。参加するジュニアリーダー養成研修生が楽しめること、それぞれの子ども会でも実施できることが条件です。活発な意見が出る中、話が脱線することもしばしばで、笑いが絶えません。ゲームやダンスを実際に行い、全員ができるか確認します。進行は、シニアリーダー養成研修生たちで、まとめるのが大変そうです。時間ギリギリに何とか決まりました。



列車の中では、行き先も楽しみで、なかなか眠れませんでした。到着した十勝の池田町では、施設見学や町の探索をしました(列車泊研修)

かまどの作り方や、まきを割るときの注意点をみんなに説明することも研修のうち(三世代ふれあいキャンプから)



市を訪れていた、ロシア・ノボシビルスク少年交流団との交流がありました。竹とんぼ作りや昔遊び、フォークダンスなどを一緒に楽しみました。言葉が通じなくても、身ぶり手ぶりの交流は貴重な体験になりました。

リーダーたちは、研修会でたくさん学ばせていただきました。遊びや野外生活の知識、集団生活でのけじめやルール、力を合わせて何かを達成する喜びなどです。先輩リーダーがキャンプファイヤーを盛り上げたり、グループをまとめた

りすることで、後輩たちの手本になるとともに、先輩リーダーの自信にもなります。リーダーたちが、学んだこと、感じたことを、子ども会活動に役立てていくことで、ほかの子どもたちと一緒に成長していくことでしょう。

◇ ◇ ◇

平成十四年度からは、学校週五日制が実施され、子どもたちが家庭や地域で過ごす時間はますます多くなります。子ども会は、地域に根差して、学校や家庭では得られない体験をすることが出来る場です。地域の人たちが連携をとりながら、子ども会を支えていくことは、子どもたちの健全な成長と、地域社会の将来につながるのではないのでしょうか。

厚別区では、三十九の子ども会が結成されており、約四千人が加入しています。札幌市子ども会育成連合会厚別区事務局では、子ども会の未結成地区に、結成を呼び掛けています。子ども会の結成、加入、活動などについては、事務局までご相談ください。

- 子ども会を作りたい
 - 子ども会に入りたい
 - 子ども会の活動を知りたい
- などについての相談は

厚別区民センター1階
札幌市子ども会育成連合会
厚別区事務局まで
☎ 891-8008